

源泉利用実態・管理運用調査業務

公募型プロポーザル 評価基準

以下の基準に従って審査員が企画提案書等について各項目毎の評価点をつけ、点数を合計したものを審査点とする。全審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位をつけるものとする。

ただし、順位決定を行う際に、同位の提案者が複数ある場合は、審査員の多数決により順位を決定する。

区分	評価項目		審査基準	配点
	大項目	小項目		
業務遂行能力	体制	管理技術者の実績	類似業務実績の有無・件数	5
		担当技術者の実績	類似業務実績の有無・件数	5
		柔軟な対応が可能な体制	柔軟な対応が可能な人員体制	5
	実績	業務実績	類似業務実績	10
業務内容	全体整理度		本業務の実施目的、業務内容を理解した上で、全体の実施方針が提案されているか	15
	源泉及び施設に関する調査		源泉、湯設備、配湯設備に関する知識や技術的知見を有し、文献調査、現地調査により現状把握、分析を行うことを理解しているか	10
	温泉事業における課題把握及びその解消方法検討		弟子屈町の温泉事業の状況と調査結果に応じ、温泉資源活用における課題把握及びその解消方法の検討を行う必要があることを理解しているか	10
	温泉モニタリングシステムの整備の提案		弟子屈町が利用している温泉モニタリングシステムの内容を理解し、温泉利用にあたり有効な整備方法の提案をする必要があることを理解しているか	10
	温泉資源保護と温泉資源活用の両立		温泉資源保護と効率的な温泉資源の活用を両立し、将来的に更なる温泉資源の活用に向けた検討を行う必要があることを理解しているか	10
	還元井に関する調査を踏まえた検討		別途弟子屈町が実施する還元井に関する坑井調査の結果を踏まえ、余剰が生じた温泉水を還元することを前提とし、温泉資源の活用の検討を行う必要があることを理解しているか	10
積算	見積金額		見積金額が委託内容に対して妥当なものとなっているか	10